

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 28 年 6 月 1 日			
所属学部・研究科	経済学部/研究科 4 年次 (留学開始時点)			
留学先大学	ミネソタ大学 (国名: アメリカ)			
所属学部・学科等名	Liberal Arts			
在籍身分	Non-degree			
留学期間	平成 年 8 月 18 日 ~ 平成 年 5 月 14 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: J1			
	ビザ申請先: 在日米国大使館			
	取得方法, 提出書類: DS-160, パスポート, 両親のパスポートのコピー, 在留カードのコピー, 証明写真, 面接予約確認書, DS-2019, SEVIS 費用の支払い済み確認書, 財産証明書			
	手続きに要した日数: 5 日			
その他必要な事前手続き	飛行機の手配			
出国年月日	平成 年 8 月 18 日			
経路	東京からミネアポリス (直行便)			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	オリエンテーションは授業が始まる 2、3 週間ぐらい前から始まる。 到着日によって、日時を選択できる。			
帰国年月日	平成 年 5 月 14 日			
経路	ミネアポリスから東京 (直行便)			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	1,450,000	円	
	内訳	渡航費	150,000	円
		保険料	100,000	円
		教科書代(学費)	30,000	円
		宿舍費	900,000	円
		食費	270,000	円
		その他 (費)		円
(費)		円		
(費)		円		
3. 授業について				
2015 年 秋学期	9 月 8 日 ~	12 月 23 日		

2016年 春学期	1 月 19 日 ~ 5 月 13 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	基本的に自分の興味のあるクラスを選択できるが、難しいクラスになると語学力、基礎知識の有無によって、制限が出てくる。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	積極的にオフィスアワーに行くこと、渡航前のある程度の英語力を身につけておくと、授業の選択の幅は大きく広がる。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	約 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (3 人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり \$ 1,000 (現地通貨) 約 100,000 円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input checked="" type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	日本からの留学生の間では、University Village が一番人気
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input type="checkbox"/> 日本 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 100,000 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	狂犬病のワクチン (1回)
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:

留学先国の医療事情 (日本と比較して)	医療費がかなり高い	
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	冬はとても寒いので、防寒対策をしっかりとすること	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
大学の北部に位置する Dinky Town は危険だと聞いた。実際に、週末の夜になると、多数のパトカーや救急車が頻繁に通っていた。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
寮に関しては、East Bank で授業があるなら University Village、West Bank で授業があるなら Middle brook が一般的		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 年 3 月	(当初の卒業予定年月 平成 年 3 月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	大学院進学	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	留学前に必要な単位をほぼ取り終わっていると、留学中に興味のある授業を中心に取ることができる。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
米国大使館	http://www.ustraveldocs.com/jp_jp/index.html?firstTime=No	面接で必要な書類が書いてある。
留学ジャーナ	http://www.ryugaku.co.jp/	留学先での注意事項が書かれてある。
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
9ヶ月は思ったよりあっという間です。事前にしっかり計画を立てましょう。また、アメリカは自己主張をすることに対して寛容的です。思ったことがあれば、遠慮なくはっきりと言った方がいいと思います。そのためにも、上記でも述べたように、留学前にある程度の英語力は身につけておくべきです。		

学習の概要に関するレポート

アメリカと日本の大学では多くの違いがあった。多くの人が耳にしている噂通り、アメリカの大学は日本の大学よりもはるかに忙しい。その理由は、1) 宿題が多い、2) アメリカでは GPA が重要なため、学生がよく勉強し、その結果テストの平均点が高い。そして、成績は相対評価なので、高い平均点に劣らない点数を取らないと成績が悪くなる。3) ノンネイティブの学生にとって、英語での授業を吸収するのは時間がかかる。しかし、こういった重圧がありながらも、一年間充実した学生生活ができたのは、アメリカの大学が努力が報われる仕組みになっていたからだと思う。少々英語がわからなくても、一生懸命勉強すれば必ず、日本の大学の GPA より高い GPA が取れると思った。なぜなら、オフィスアワーや TA 制度が非常に充実しているからである。アメリカでは、教員と生徒が平等な関係にあり、学生の教員に対する評価が日本よりも厳しいという印象を受けた。また、TA を務める学生のレベルが高く本当に助けられた。さらに、ライティングセンターと呼ばれる、レポートやエッセーをネイティブが無料で、添削してくれるサービスがあり、留学生にとっては非常に役に立つ。交換留学生は ESL の授業を履修する人も多く、ほとんどのクラスではエッセーや長いレポートが必須のため、ライティングセンターが欠かせない場所である。文法や単語の間違いでなく、一番大事な部分である全体の構造 (introduction, body, conclusion) もチェックし、アドバイスをくれる。また、TOEFL の writing やその他の英語の試験を留学後に受けようと思っている人にも、とても有効である。

一番大事なことは、わからないことをわからないままにしておかないことだと思う。アメリカは厳しい競争社会で冷たいイメージを持つ人がいるかもしれないが、頑張りたい人にとってはこの上なくラッキーな社会だと思った。本気になれば、いろんな人が手を差し伸べてくれる、そんな社会だなと思った。私自身も第一セメスターはわからないことが多く成績も散々だったが、第二セメスターはいろんな人に助けられ、GPA 3.8/4.0 を取ることができた。

もう一つ、大切だと思ったのは、自信を持つことである。最初の3ヶ月は、人に話しかける勇気がなかった。うまく伝わらない時に、嫌そうな顔で What!?! と聞き返される度、心が折れそうになった。しかし、この留学を絶対無駄にしたいくないという思いで、自分からコミュニケーションをとることをやめ

なかった。そのうち、今まで英語上手だなと思っていた留学生の人も、よく聞いたら間違った文法をよく使っていたり、TOEFL のスコアもそんなに自分と変わらない戸言うことに気づいた。やたらと自分よりうまそうな英語を話している理由は、その人たちに自信があるからだと思った。必要なのは、最初から完璧な英語を話すことではなく、自信を持って人とコミュニケーションをとることだと思った。

生活の概要に関するレポート

このレポートでは、安全面、天候、休暇の過ごす方、イベント情報について話していきたい。これからミネソタに行かれる皆さんの参考にでもなればいいなと思っている。

留学前に一番心配だったのは、やはり安全面であった。テレビで報道されている事実だけを見れば、確かに危険な国だというイメージを持ってしまいが、実際に行ってみると、イメージとは違って、銃撃などの死者を伴う事件は起こらなかった。調べてみると、ミネソタ州は全米一安全な州とのことだった。ただ、窃盗など事件はよく起きていたので、ここ広島大学付近よりは危険だと思った。特に夏は夜間出歩く人数も多く、路上で口論している人たちを多く見かけた。また、夜一人で出歩くことのは控えた方がいいと思った。キャンパス内にいけば、例えば、図書館などで遅くまで勉強して帰る場合などは、セキュリティに連絡すると担当者が迎えに来てくれ、家まで一緒に帰ってくれるが、キャンパス外にいる時は、大勢で行動した方がいい。

ミネソタ州では、天候にも気をつける必要がある。言うまでもなく、冬は本当に寒い。マイナス 30 度はごく当たり前で、暖冬と言われていた去年でも、マイナス 25 度までは下がった。11 月頃になると、冬服のバーゲンが増え、学生たちは、モールオブアメリカと呼ばれる全米有数の大きさを誇るショッピングモールに行き、長い冬用ダウンコートを買っていた。三月の下旬あるいは四月の月上旬まで、この厳しい寒さが続き、その後は急に 20 から 30 度程まで上昇する。

休暇に関しては、12 月 23 日から 1 月 19 日まで冬休みがあり、交換留学生は旅行に行く人が多かった。私も、一週間ニューヨークに滞在し、ミネソタにはない都会の華やかな雰囲気や、オフィス街の慌ただしい様子、美術館やミュージカルなどの芸術を堪能できていい思い出になった。中には、東海岸と西海岸の両方を満喫した人もいて、長期の旅行も一つの選択肢だと思った。また、基本的にアメリカの大学は祝日がなく、休講もないが、**Thanksgiving** の前は、授業が休講になることが多かった。なので、最長で水曜日から日曜日まで五日間の休むことが可能である。その間はシカゴなどの比較的ミネアポリスから近い大都市に旅行する人が多かった。

イベントに関しては、日本からの留学生をサポートする JSC という団

体が定期的にパーティーを開いてくれた。場所は近くの教会で、日本料理や中華料理が無料で振る舞われる。また、アメリカの現地の学生で日本に興味を持っている学生も参加しているので、人脈を広げたり、語学力を向上させたりするのにいい機会だと思う。他にも **J-Cafe** と呼ばれるアメリカで育った日本人の学生による交流会は毎週金曜日に行われ、多くの日本人学生や日本語を先行しているアメリカ人の学生が集まった。普段、日本人の留学生は、日本人同士で固まっていることが多かったが、このイベントでは積極的に現地の学生と交流していた。また、ミネソタ大学が主催するイベントも多く、そのような情報はほぼ **Facebook** から入手できるので、定期的に **Facebook** をチェックし、気に入ったイベントサイトをフォローすれば、事前にリマインドももらえるので便利である。